

開講科目名 / Course	家族看護学概論	
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 2 学期 / Second	
開講区分 / semester offered	2 学期 / Second	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	荒木 章裕	
担当教員名 / Instructor	福田 広美、荒木 章裕、矢野 亜紀子、大矢 七瀬	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	家族看護では、家族全体を看護の対象と考え、家族の力を最大限に引き出し、家族全体の健康を目指して、未来の危機に備える力をつける支援が重要となる。これらの支援を行うために、家族看護では、多様な家族に対する理解を深める。理論やモデルをもとにアセスメントを行い、家族のニーズを理解したうえで看護が行えるようになることを目的とする。	
到達目標	1. 家族看護の意義や対象、目標、理念を説明できる。 2. 家族の発達段階と各期の発達課題を説明できる。 3. 健康問題を持つ家族のアセスメントができる。 4. 健康問題を持つ家族に対する援助方法を説明できる。	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ	
授業計画	01. 家族看護とは 02. 家族看護の対象理解 03. 家族看護を支える理論 04. 家族看護展開 方法 05. 家族看護展開 アセスメントモデル 06. 家族看護展開 実際 07. 家族看護の実際 理論とモデル 08. 家族看護の実際 家族看護の介入と評価	
その他の授業の工夫	学生が主体的に学ぶため、教員からの発問に加え、グループワークや意見交換、発表等のアクティブラーニングを実施する。	
時間外学修	事前学修：次回の学修内容について、事前に配布する資料や教科書を用いて予習する（8h）。 事後学修：授業で学修したことを整理し、獲得した知識の定着を図る（8h）。また学修した内容を基に与えられた課題に取り組み、到達目標の達成を目指す（6h）。	
評価方法と評価割合	出席時間数の3分の2以上の出席を評価要件とする。 平常点：10%（発言等の積極性）、レポート・提出物（40%）、筆記試験（50%）	
テキスト	必要に応じて資料を配布する。	
参考書	系統看護学講座 別巻 家族看護学（医学書院）	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	福田広美：病院に勤務する看護師 荒木章裕：病院に勤務する看護師 矢野亜紀子：病院に勤務する看護師 大矢七瀬：病院に勤務する助産師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	看護の実務経験を活かして家族看護学の理論や知識について教育する。	